2021年度　通信制高等学校第三者評価

評　価　報　告　書

登録認定第 0 0 7 号

［相生学院高等学校］

［通信制課程］

2021 年 12 月 23 日

特定非営利活動法人全国通信制高等学校評価機構

提出された各種資料及び2021年11月10日、11月11日に実施した現地調査の結果、
貴校通信制の課程の評価は次のとおりとなりました。

学　校　概　要

相生学院高等学校（以下、当該高等学校という）は、平成19年11月に学校教育法第4条及び構造改革特別区域法第12条の規定により、兵庫県相生市より認可された。翌平成20年３月１日に相生市野瀬700番地に本校を開校。合わせて富士コンピュータ株式会社の支店のある、加古川、姫路、神戸、大阪に学習センターを開講。その後、今年度令和3年4月までに日本各地に学習センターを開校し、現在ではその数が30校に及ぶ。また、本校は瀬戸内海国立公園、相生湾の近くに所在する。集中スクーリングに訪れる生徒は本校近くに用意された風光明媚な環境の中に建つ宿舎で生活するが、心身共にリフレッシュできる環境が整っている。

【教育理念・教育目標】

当該校は、身体教育と情操教育と技能・知識教育との調和が、全ての教育の根幹であるという教育理念のもと、

1.「自ら学び、生きる原動力を変えることの出来る人材を育成する」
2.「自ら考え行動し、己を源とすることのできる人材を育成する」
3.「独立自尊の気概を持ち、自他を愛することの出来る人材を育成する」
4.「国際感覚が豊かで、世界平和に貢献できる人材を育成する」

という4つの教育目標を掲げている。

【学校の特色】

本校以外に、日本全国に30校に及ぶ直営校及び連携校があるが、直営校は8校あり、その各校に本校在籍の教諭が派遣され現地に常駐している。それぞれの直営校では、各校独自に様々なコースを設定するなど、生徒の興味・関心、進路指導に寄り添った学習支援を行っている。また、連携校・フリースクールと協力して様々な学習支援活動を行っているが、学校の特色として次の4点が挙げられる。

1. 選択できる多様なコースの設定

個々の生徒の興味・関心、希望進路に応じた専門的な知識・技能を身に付ける機会として、面接指導の他、次のようなコースを設定している。

① 母体となっている富士コンピュータ株式会社の強みを生かした「IT・パソコン活用分野として「情報処理コース」「IT・クリエイティブコース」「IT・ドローンコース」。
「IT・ドローンコース」は、特区内にある本校でのコースとなっており、自校の広いグラウンドを活用して、ドローンの操縦実習を行っている。

② 多様な生徒の学習ニーズに対応した、学習・人間力育成分野として、
「通学特習キャリアコース」「進学コース」「英語特進コース」「医療総合コース」「個別対応コース」。

③スポーツ分野として、
「スポーツコース」（硬式テニス、ボクシング、駅伝、サッカー）
④ 資格・実習分野として、
「建築コース」「調理師コース」「美容師コース」「ネイリストコース」
が設定されている。

2. 入学を希望する生徒への事前指導

入学試験までに、入学を希望する生徒・保護者に対面及びリモートでの面談を複数回行い、通信制高等学校のシステムや学校生活、自校の特色など丁寧な説明を行って自校に対する理解を深め、入学後に生徒が積極的に学業に取り組むことができるよう取り組んでいる。

3. グループ校との連携による専門教育

IT関連は、設置母体の富士コンピュータ株式会社の得意分野であり、グループ校の専門学校と連携して、システムエンジニア（SE）やプログラマ（PG）などの社会が必要としている人材の養成や、ドローンで撮影した映像の処理など専門的知識・技術をもった人材を育成している。

4. 活発な課外活動

課外活動にも重点を置き、きめ細やかな活動を行っており、多くの部が全国的に活躍している。特にボクシング部やテニス部の活躍はめざましい。更にサッカー部においては今年度の全国高等学校サッカー大会の兵庫県大会で決勝まで駒を進めた。

総　合　評　価

適	学校運営に関しては、学則に基づいた指導体制が整備されており、教育活動を行うにあたり生徒546人対して教員は36名と十分な教職員が配置されている。教員免許状の管理も適切に行なわれているが、この事は高く評価できる。 （評価項目1－1） 教員研修に関しては、自校に在籍している教育的支援や配慮を必要とする個々の生徒に関する事例研修を行い、コロナ禍にあっても研修内容や方法を工夫し、毎年計画的に実施している。 特に、今年度は生徒が抱える様々な学習に関する問題を軽減する為の研修資料を以下のように作成し、生徒に寄り添った教育活動の向上に取り組んでいる。 〔今年度の研修内容（一部）〕 ①教育的支援を要する生徒への配慮 ～発達障害のある生徒への学びに係る問題～ ※相生学院高校に在籍し、多くの支援を要する生徒の事例を挙げ、教職員全員で生徒への共通理解を深めている。 ②情報の処理過程 ※①の生徒たちがどのように外部からの情報を処理しているか理解する。 ③感覚・知覚の過敏さ ※発達障害に伴いやすい感覚の特性を理解し、生徒の行動の理解を深める。 ④周囲の誤解をまねきやすい障害特性 ※「我慢が足りないとみなされる生徒」は「衝動性」が高い ※「わがままだとみなされる生徒」は「こだわりが強い」 等 多くの事例をもとに研修していることは高く評価できる。 （評価項目1－2） 学校評価および情報公開についても相生市教育特区学校設置審議会による学校評価を毎年適切に実施し、地域の声を受けて学校運営を進めていることは評価できる。（評価項目 1-4・5） 施設・設備、表簿等の管理は適切に行われている。 生徒募集については、ホームページを見たうえでの生徒・保護者からの問い合わせが多く、希望する生徒・保護者全員に直接面談を実施している。コロナ禍にあっては、リモート面談を行うなどきめ細やかな対応を行っている。（評価項目 1-6・7） 教育課程に関しては、法令等に則した内容となっている。添削指導・面接指導・定期考査・特別活動の年間指導計画は作成されている。（評価項目2-1・2・3・4）

	少子化が進む中、ペーロン競漕等の地元の各種行事への参加を地元の人々から切望されるなど、総合的な探求の時間への取り組みが地域から評価を得ている。 （評価項目2-6） 生徒支援においても、日頃から生活指導に力を入れ、様々な学習困難な状況を抱える生徒の事例研修を推し進め、学習支援・生活支援に役立てている。 進路支援においては、富士コンピュータ株式会社に在籍し、キャリアコンサルタントの資格を有する社員が、キャリアコーディネーターを勤め、 生徒の進路相談に応じている。 また、卒業生を招いての懇談会を行い、コースにかかわらず、全ての生徒に対して丁寧な進路指導を実施していることは高く評価でき、今後さらに独創性に溢れた通信制高等学校として大きく飛躍していくことが期待できる。 （評価項目 3-1・2・3） 以上、全ての観点において、本機構の評価基準を満たしていると判断する。